

第28回獣医学特別セミナー

HIV感染症の現在： 「死の病」から「根治可能な感染症」 を目指して

2016年 3月10日 (木)

17:00-18:30

iCOVER 1階101 (形態構造学実習室)

明里宏文 博士

(京都大学霊長類研究所・ウイルス研究所 教授)

ヒト免疫不全ウイルス (HIV) は後天性免疫不全症候群 (AIDS) の原因ウイルスである。多彩な抗HIV薬の併用によるART療法が画期的に進展を遂げた結果、今や「AIDS=死の病」の図式は改訂され慢性疾患の一つとなりつつある。しかし、現在の医学ではHIV産生細胞 (=リザーバー) を体の中から完全に排除出来ないため、感染者は常にAIDS発症という危険と隣り合わせの中で抗HIV薬に依存し続けざるを得ない。さらに薬剤による副作用、社会的・経済的な不利益など問題は山積している。

こうした難問を解決すべく、近年ではHIV感染症からの根治を目指した革新的な技術開発研究が鋭意進められている。本セミナーでは、HIV根治に向けた我々の研究成果を含め、最近の進捗状況や今後の展開について紹介する。

★ 教員・学生の積極的な参加をお願いします！ ★

連絡先：三宅在子 (5913)
加納 聖 (5883)
清水 隆 (5895)

共同獣医学部

